

令和元年度指定管理者評価調書

施設所管課	福祉部福祉課
-------	--------

施設名称	江刺総合コミュニティセンター	施設所在地	江刺 地域
指定管理者名	社会福祉法人 奥州市社会福祉協議会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)	新規・継続の別	継続
施設設置目的	文化活動、社会福祉の研修等を行うことにより、障がい者、高齢者等全ての市民の相互理解と交流の活性化を図り、もってノーマライゼーションの理念の普及高揚に資する。	指定管理料の有無	有
施設概要	ホールや会議室の使用等による生涯学習の場となるコミュニティエリアと障がい福祉サービス事業所があるリハビリエリアからなる施設である。	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	江刺総合コミュニティセンター	40,911	33,138	30,021	28,266	94.2	
(計)	40,911	33,138	30,021	28,266	94.2		
[利用者の増減理由] ・平成30年度から相談室、静養室が江刺寿生会の専有施設であったことが判明したため、2室を利用実績に含めていない。 ・視聴覚室のエアコンが故障しているため、特に夏季の利用に影響が出た。 ・ホール音響設備を修繕し、利用環境の改善を図っている。 ・条例で貸し出しの定めのない部屋を令和元年9月に条例を改正し、利用向上を図っている。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位:円)	R1年度指定管理者収支				市の収支				
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R1年度決算額		市直営決算(H17年度)		
収入	指定管理料	29,162,000		29,162,000	使用料	5,664,000	使用料	4,321,600	
	利用料金	193,355		193,355	賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0	その他		その他		
	雑収入		76,130	76,130					
	計	29,355,355	76,130	29,431,485	計(A)	5,664,000	計(A)	4,321,600	
	支出	人件費	6,090,157		6,090,157	指定管理料	29,162,000	人件費	
		需用費	15,837,738		15,837,738	委託料		委託料	27,018,140
		役務費	96,474		96,474	需用費		需用費	
		委託料	6,485,081		6,485,081	※経常的 その他		その他	
		使用料・賃借料	79,056		79,056	計(B)	29,162,000	計(B)	27,018,140
租税公課		754,400		754,400	支出(B-A)	23,498,000	支出(B-A)	22,696,540	
その他諸費		88,579		88,579	※臨時的 維持修繕費		維持修繕費		
計		29,431,485	0	29,431,485	備品購入費		備品購入費		
計(C)				計(C)	0	計(C)	0		
損益	△ 76,130	76,130	0	支出(B+C-A)	23,498,000	支出(B+C-A)	22,696,540		
職員配置	常勤職員	2 人			市の正職員	0 人			
	非常勤職員	0 人			市の臨時・非常勤職員	0 人			
利用料金実績 (単位:円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額						
	4,108,625	3,915,270	193,355						
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		20.7 %	R1年度指定管理者損益	0 円			評価	
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		1,031.7 円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし			3	
行革効果	[指定管理による行革効果]			[行革効果額]			△ 801,460 円		評価
	市直営時(H17)と比較すると消費税率の変化に伴い需用費や委託料が上がっていることから単純に直営時との比較は難しい。前年度と比較すると効果は得られている。また、施設の老朽化による維持修繕費により、全体的な支出額がその年によって増減する状況に変わりはない。			[行革効果額の積算根拠]					3
					R1	H30	比較		
				直営支出額	22,696,540	22,696,540		0	
市支出額				23,498,000	23,793,000		△ 295,000		
効果額	△ 801,460	△ 1,096,460		295,000					

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	・施設の使用許可等に関する業務 ・施設の使用に係る使用料金の徴収に関する業務 ・施設の維持管理に関する業務	○		3
自主事業	・福祉関係団体の活動支援	○	・ヒロノ福祉パーク祭の実施	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価	
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	火災警報器の更新や利用者の利便性の確保に努めている。	○	3	
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	(財)東北電気保安協会岩手県事業本部に委託。月次点検(需要施設2ヵ月1回)、年次点検、臨時点検。	○		
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	江刺寿生会に委託。日常清掃、全館清掃(週1回)、定期清掃(月1回)、特別清掃(年2回)。	○		
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	節水・節電を積極的に行い、経費の節減に努めている。	○		
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	施設所有管理者賠償責任保険(あいおいニッセイ同和損害保険株式会社)に加入。	○		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	江刺総業(株)へ委託。年4回の作業実施。定期的に利用団体へ呼びかけて、草取りボランティアを実施している	○		
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	条例に従い、利用者に対し使用許可・減免等を適切に行った。	○	3	
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	HP、広報誌に掲載。	○		
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	規程様式による内容説明。速やかな受付及び貸出に努めている。条例に定めのない物品は本会の物品を無料で貸し出しするなどし、利用者の利便性向上に努めている。	視聴覚室のエアコンが故障しているため、夏季の快適な利用環境を提供できていない。		△
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情解決規定により、受け付けた苦情を全て苦情解決責任者及び第3者委員に報告。また、要望意見記入箱を設置し、苦情及び意見に応えられるよう努めている。	○		
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	ヒロノ福祉パーク祭(ふれあい演芸祭、仮装盆踊り、夢灯り)の実施。福祉団体活動の支援。和室を一般に貸し出しできるように、条例改正を要望し実現した。	○		
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	市への定期報告(月1回)の実施。	○		
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	市個人情報保護条例、奥州市社会福祉協議会個人情報保護規定に基づき対応。	○	3	
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	岩手信号防災(株)に委託。機器点検(年1回)、総合点検(年1回)。	○		
	警備業務の実施(機械警備含む)	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	ALSOK岩手(株)へ委託。外部からの侵入を漏れなく監視し得るよう機器を設置。	○		
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	対応マニュアルを作成し、体制を確保。	○		
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	対応マニュアルを作成。	○		
	避難(救助)訓練の実施	避難訓練の実施	消防計画に従い、年2回避難及び消火訓練を実施。	○		

5 利用者評価

	利用者 アンケート	実施の有無	有	評価	
		調査内容	施設利用者に対するアンケートを実施		
		調査結果	回答138件。月ごとに集計し、内容を分析している。		
利用者 評価	要望・苦情等	良好とする 評価	<p>【職員の対応について】 大変よい71件 よい48件 普通8件 悪い・大変悪い0件</p> <p>【今後の利用について】 是非利用したい88件 利用したい36件 利用してもよい3件 利用したくない0件</p> <p>【アンケート事由記述内容】 ・気持ち良く利用でき感謝してる。 ・暖房が入っていて快適に運動出来た。 ・いつも親切にさせていただきありがとうございます。 ・公共物・文化施設として、市民の為に有益だと思う。</p>	2	
		苦情・改善 要望等	<p>【室温】 悪い・大変悪い 5件</p> <p>【照明】 悪い 2件</p> <p>【施設付属設備・備品】 悪い 4件</p> <p>【アンケート事由記述内容】 ・暑い ホール2件 ・照明が暗い ホール1件、和室1件 ・設備備品の老朽化・故障 ホール1件、会議室2件、ボランティア室1件</p>		

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合 評価	1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	2	
評価理由	指定管理制度の導入によって、直営時よりは若干の支出はあるが、適切な施設管理が行われていることから行革の効果が上がっていると判断する。		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・ 改善案等 (施設所管課)	引続き計画的な施設の更新・補修を行う。和室を貸出できるよう条例等を改正する。	屋根の雨漏りや、ホールの音響など施設の修繕を実施した。和室の貸出ができるように条例を改正した。	施設の更新や修繕については、必要性、緊急性を判断しながら計画的に進めていきたい。

令和元年度指定管理者評価調書

施設所管課	福祉部長寿社会課
-------	----------

施設名称	水沢高齢者創作館	施設所在地	水沢 地域
指定管理者名	奥州市老人クラブ連合会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	高齢者の生きがいと創造意欲の高揚	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料のみ
施設概要	木工部、陶芸部、手芸部、園芸部、わら細工部		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	水沢高齢者創作館		2,484	2,467	2,472	2,126	
							2
	(計)	2,484	2,467	2,472	2,126	86.0	
〔利用者の増減理由〕							
会員の高齢化による活動への参加日数の減少及び会員数の減少							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R1年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計		R1年度決算額		市直営決算(H17年度)		
						歳入	歳出	歳入	歳出	
収入	指定管理料	2,863,000		2,863,000		使用料		使用料		
	利用料金			0		賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0		その他		その他		
	雑収入	2		2						
	計	2,863,002	0	2,863,002		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	1,080,000		1,080,000		指定管理料	2,863,000	人件費	
		需用費	561,569		561,569		委託料		委託料	
		役務費	9,826		9,826		需用費		需用費	
		委託料			0		※経常的 その他		負担金	2,995,000
		使用料・賃借料			0		計(B)	2,863,000	計(B)	2,995,000
租税公課				0		支出(B-A)	2,863,000	支出(B-A)	2,995,000	
その他諸費		20,825		20,825		※臨時的 維持修繕費		維持修繕費		
報償費		1,160,000		1,160,000		備品購入費		備品購入費		
計	2,832,220	0	2,832,220		計(C)	0	計(C)	0		
損益	30,782	0	30,782		支出(B+C-A)	2,863,000	支出(B+C-A)	2,995,000		

職員配置	常勤職員	0 人	市の正職員	0 人
	非常勤職員	1 人	市の臨時・非常勤職員	0 人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額	
	0	0	0	

指定管理者人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出	38.1 %	R1年度 指定管理者損益	30,782 円	評価
-----------	------------------------	--------	-----------------	----------	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料 /利用者数	1,346.7 円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	----------------	-----------	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕	〔行革効果額〕			132,000 円	評価
	指定管理制度を導入することで、人件費の削減に伴う経費面での効果が表れている。 また、相互交流や作品作りによって高齢者の生きがい対策の充実が図られている。	〔行革効果額の積算根拠〕				3
			R1	H30	比較	
		直営支出額	2,995,000	2,995,000	0	
		市支出額	2,863,000	2,863,000	0	
効果額	132,000	132,000	0			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	高齢者の生きがいと健康づくり事業の実施	○	(未実施) 水沢老連高齢者趣味創作展 (理由) 新型コロナウイルスの感染拡大予防のため中止	3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	施設全体が老朽化しているため、早めの修繕を行い経費削減に努めている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者（電気・ガス）による定期点検が行われている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	清掃分担に従い、部員が自主的に責任感を持ち清掃がなされている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	水回り関係の経年劣化による漏水について、各部に周知を図り、注意して使用している。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	市が建物共済保険を付保する。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	施設の周囲の雑草駆除等を各部で行い、整備に努めている。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	水沢高齢者創作館条例に則り、適切に対応している。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	市老人クラブ連合会の会報や社会福祉協議会の福祉だより等を活用して館の宣伝に努めている。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	パンフレットの作成やイベントへの参加によって利用促進にあたっている。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	会員との交流を図り、会員の意思を尊重して対応している。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	イベント参加や事業を行うことによって会員増加を図っている。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	日誌及び月毎活動報告書の記載によって定期報告を行っている。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報の適切な保護に努めている。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	防火管理者の設置及び定期点検の義務がない施設である。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	創作館の決まりを遵守し、事故防止に取り組んでいる。使用の講習を実施して安全確保に努めている。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	連絡網を作成し、関係機関への連絡、対応が適切に行われるように努めている。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、避難について確認をしている。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	11月に避難訓練を実施している。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	3
		調査内容	1 会員経過年数について 2 活動の成就感について 3 施設への要望について 4 改善点について	
	調査結果	1 会員経過年数（平均） 約8年 2 興味があることが安価でできること。 物を生産できること。自分の能力を知ることができること。 3 自分のペースで活動していると無心になれる。 4 談笑していると気分転換になる。		
	要望・苦情等	<p>良好とする評価</p> <p>1 多くの会員は入会年数が長く、施設を生きがいづくりの場として活用されている。しかし、より発表する機会があれば、という要望も出ている。 2 木工部の機会が古くなってきているので、可能な範囲でメンテナンスを実施できたことから、安全面への配慮がなされたといえる。</p> <p>苦情・改善要望等</p> <p>1 新型コロナウイルスの感染拡大が、作品の発表等の機会にどの程度影響があるか懸念している。 2 水道管の漏水に関しては随時対応してきたが、施設の老朽化と利用者の高齢化で、応急処置の対応だけでは防止できずにいる。</p>		

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	2	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	3	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の閉じこもりを防ぎ、生きがいづくりと創作意欲の高揚に貢献している。積極的な行事参加や活動が新聞で紹介されるなど、高齢者が地域から評価される機会にもなっている。 ・アンケートを実施し、利用者の意見や要望を取り入れながら運営にあたっており、指定管理者として適切な事業管理にあたっている。 ・安全講習の実施、避難訓練の実施、緊急時連絡網の作成など、事故等に対する防止及び発生時の対応に備えて運営を行っている。 	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	様々な機会を活用し、活動参加の促しを継続していく。	市老人クラブ連合会の会報に施設の活動内容の様子や会員募集欄を設けて、新規会員の加入及び活動参加の促進を図った。	継続して新規会員の加入促進を進める。

令和元年度指定管理者評価調書

施設所管課	江刺総合支所健康福祉グループ
-------	----------------

施設名称	江刺高齢者生産活動センター	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	社会福祉法人奥州市社会福祉協議会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	高齢者の経験や技術を生かした就業機会の増大を図り、その生きがいを高めるため、高齢者の生活活動を総合的、機能的に推進し、山村地域の振興に資する。	指定管理料の有無	有
施設概要	ロビー（展示室）、竹加工室、木工室、食品加工室、陶器室、休憩室、事務室等	指定管理料の区分	指定管理料のみ

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	江刺高齢者生産活動センター		1,400	1,358	1,233	1,370	
							4
	(計)	1,400	1,358	1,233	1,370	111.1	
〔利用者の増減理由〕 各部部員及び活動日数の増加による。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R1年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R1年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	5,768,000		5,768,000	歳入	使用料		使用料		
	利用料金			0		賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0		その他		その他		
	雑収入	77,771		77,771						
	計	5,845,771	0	5,845,771		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	4,299,179		4,299,179	歳出 ※経常的	指定管理料	5,768,000	人件費	
		需用費	446,564		446,564		委託料	54,000	委託料	6,150,900
		役務費	243,801		243,801		需用費		需用費	
		委託料	467,745		467,745		その他		その他	
		使用料・賃借料	6,253		6,253		計(B)	5,822,000	計(B)	6,150,900
租税公課		382,229		382,229	支出(B-A)		5,822,000	支出(B-A)	6,150,900	
その他諸費				0	歳出 ※臨時的		維持修繕費	902,242	維持修繕費	
計		5,845,771	0	5,845,771			計(C)	902,242	計(C)	0
損益	0	0	0	支出(B+C-A)	6,724,242	支出(B+C-A)	6,150,900			
職員配置	常勤職員			人	市の正職員		人			
	非常勤職員			3人	市の臨時・非常勤職員		人			
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
			0							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		73.5%		R1年度指定管理者損益	0円		評価		
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		4,210.2円		事業目的に適合しない支出等の有無		なし	3		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			328,900円		評価	
	本制度の導入により、円滑に事業運営及び施設管理が図られた。 あわせて、人件費や管理費用等の運営経費の圧縮が図られた。			〔行革効果額の積算根拠〕					3	
					R1	H30	比較			
				直営支出額	6,150,900	6,150,900		0		
市支出額				5,822,000	5,768,000		54,000			
効果額		328,900		382,900		△54,000				

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	使用の許可に関する業務、施設及び設備の維持管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	陶芸教室の実施 文化祭等での作品展示、施設開放	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。小修繕は職員による作業を行い経費の削減に努めている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	定期点検は実施せず、異常がある際に業者へ依頼している。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	活動日に業者委託により実施。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努め、適正な使用と認められた。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	利用者及び職員のケガや事故のため加入している。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	職員により定期的に実施されている。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	公平性は確保されている。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	「社協だより」や「市広報」等においてPRを実施している。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	トラブル等もなく問い合わせへも適正に対応している。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	マニュアルにて対応することとしているが、苦情は出ていない。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	教室を開催することにより、その後の利用に繋げている。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	奥州市社会福祉協議会個人情報保護規定に基づき適正に実施している。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検を実施。消防計画を策定し、火災予防に取り組んでいる。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	職員による施錠管理をしている。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	マニュアルを策定し、事故発生時の対応に備えている。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	マニュアルを策定し、災害発生時の対応に備えている。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	消防計画に基づき実施している。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	無	3
		調査内容	実施はしていないが、申し出や要望等について随時受けられる体制をとっている。	
		調査結果		
	要望・苦情等	良好とする評価	マニュアルにて対応することとしているが、苦情は出ていない。	
		苦情・改善要望等		

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	4	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主事業を開催することによりその後の利用につなげ、利用実績を前年対比10%増を達成したことは大いに評価できる。 ・ 制度の導入により、人件費や物件費が抑制され行革の効果を着実に上げており、評価できる。 ・ 施設の特性を生かした自主事業の取り組みは、「高齢者の生活活動を総合的、機能的に推進し、山村地域の振興に資する」という施設の目的に貢献している。 		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	利用者の拡大	自主事業を開催し、利用者の拡大につなげている。	特になし

令和元年度指定管理者評価調書

施設所管課	前沢総合支所市民福祉グループ
-------	----------------

施設名称	まえさわ介護センター	施設所在地	前沢 地域
指定管理者名	社会福祉法人つつじ会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	居宅における介護を支援する。（訪問介護事業・通所介護事業・短期入所生活介護事業・介護支援相談事業・訪問給食事業）	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料+利用料金
施設概要	デイサービスセンター、ヘルパーステーション、在宅介護支援センター、厨房、ショートステイ居室(30床)など		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	通所介護事業		7,606	7,296	6,914	7,314	
短期入所生活介護事業		8,383	8,151	8,067	8,614	106.8	
	(計)	15,989	15,447	14,981	15,928	106.3	
〔利用者の増減理由〕							
通所介護では、職員不足のため他の部署から応援をもらいながら、季節に応じた行事等を開催し、利用者の確保に努めた。また、短期入所では前沢地域以外の送迎にも対応し利用者確保に努めるとともに、ケアマネージャー等に空き状況等について定期的に情報提供を行ったことで利用者の増加につながった。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R1年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R1年度決算額		市直営決算(H25年度)			
収入	指定管理料	7,000,000		7,000,000	歳入	使用料		使用料		
	利用料金	170,673,817		170,673,817		賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0		その他	13,400,125	その他	20,900	
	雑収入	4,851,288		4,851,288				事業収入	169,246,258	
	計	182,525,105	0	182,525,105		計(A)	13,400,125	計(A)	169,267,158	
支出	人件費	137,422,829		137,422,829	歳出 ※経常的	指定管理料	7,000,000	人件費	134,271,603	
	需用費	25,028,458		25,028,458		委託料	2,208,086	委託料	24,731,192	
	役務費	797,258		797,258		需用費	10,442,939	需用費	19,448,097	
	委託料	29,759,596		29,759,596		その他	1,141,265	その他	6,574,810	
	使用料・賃借料	5,966,060		5,966,060		計(B)	20,792,290	計(B)	185,025,702	
	租税公課			0		支出(B-A)	7,392,165	支出(B-A)	15,758,544	
	その他諸費	48,009		48,009		歳出 ※臨時的	維持修繕費	7,983,172	維持修繕費	
							備品購入費		備品購入費	1,001,070
	計	199,022,210	0	199,022,210			計(C)	7,983,172	計(C)	1,001,070
	損益	△ 16,497,105	0	△ 16,497,105		支出(B+C-A)	15,375,337	支出(B+C-A)	16,759,614	

職員配置	常勤職員	29 人	市の正職員	4 人
	非常勤職員	12 人	市の臨時・非常勤職員	48 人

指定管理者人件費率	人件費(賃金等) / 指定管理者事業支出	69.0 %	R1年度指定管理者損益	△ 16,497,105 円	評価
	利用者一人当たりの指定管理料 / 利用者数	439.5 円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料 / 利用者数	439.5 円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	2
----------------	--------------	---------	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			8,366,379 円	評価
	指定管理前と比較すると行革効果は表れているといえるが、建築後20年以上を経過していることから、行革効果額には反映されない「維持修繕費」等の臨時的費用が増加している。			〔行革効果額の積算根拠〕				
		R1	H30	比較				
	直営支出額	15,758,544	15,758,544	0				
	市支出額	7,392,165	7,078,847	313,318				
効果額	8,366,379	8,679,697	△ 313,318					

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設を適正かつ円滑に管理すること。 指定管理者が有する能力を活用しつつ、地域住民等に対する福祉サービスの効果及び効率を向上させ、もって地域の福祉の一層の増進を図ること。	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	保守・点検業務の委託により、適切に管理が行われている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	保守・点検業務の委託により、適切に管理が行われている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	法人職員で清掃業務を行っている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	蛍光灯を間引きし、こまめに消灯する等、節約に努めている。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	介護保険・社会福祉事業者総合保険への加入を確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	隣接する市の管理施設と合わせ、共同で管理を行っている。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	公平中立なケアマネジメントの確保に関する説明を行っていることを確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	広報誌を定期的に発行し、家族・関係機関へ配布していることを確認した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	各部署の責任者を中心に適切な対応がされていることを確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	各部署から所長へ速やかに報告され、迅速な対応がなされている。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	介護センターまつりを通じて家族や地域住民との交流を図っている。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	協定書に基づき適切に報告を受けた。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	基本協定書第17条及び独自の基本規定等に基づき適正に実施されている。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	点検業務の委託により、適切に管理が行われている。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	休日及び夜間についても日直当直により安全が確保されている。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	初期対応や家族への連絡が適切に行われており、事故報告書やヒヤリハット報告書を提出させ再発防止に努めている。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	防災計画書及び緊急連絡網が整備されている。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	消防指導の下、日中及び夜間想定での避難訓練が行われた。水害想定での避難訓練を職員で実施した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	3
		調査内容	利用者及び家族を対象に、利用時間や送迎時間、入浴や食事等について、職員の対応等の適否等の聞き取りを行っているほか、担当ケアマネージャー等との情報交換を通して調査を行った。	
	調査結果	利用者の要望をできるだけ取り入れた支援に対し、概ね満足とする評価だった。		
	要望・苦情等	良好とする評価	短期入所利用者をお花見ドライブに連れて行き、車酔いする方は桜並木までの散歩を行うなど個々に合った対応が喜ばれた。通所介護利用者からは行事における職員の出し物が楽しいとの声が寄せられた。	
		苦情・改善要望等	通所介護利用者より静養時のベット使用について要望があったことから、簡易ベットを購入し対応した。	

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	2	
2 経費等の状況 (行革効果)	3	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	<p>慢性的な職員に不足にも関わらず、さまざまな工夫を凝らして稼働率の向上に取り組み、利用実績は前年度対比6.3%の増となったが、施設は築20年以上を経過し、修繕か所や光熱水費等の経費の増加により、損失は増加傾向にある。</p> <p>このことから、各部署で経費の削減とサービスの向上に向けた取り組みを積極的に行い、利用者の満足度向上と利用者の増加に向けて、さらに努力を重ねている。</p>	

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	施設の老朽化に伴う適切な施設管理。サービスの質の向上。新規利用者への働きかけを行う。	施設の点検結果等を受け、部品交換等適切な維持管理を行い、安全な利用努めた。また、利用の空き状況等について定期的に情報提供を行い、利用者の確保に努めた。	施設の老朽化に伴う適切な施設管理を継続して行う。 また、職員の資質向上に努め、個々のニーズに応じたサービス提供に努める。

令和元年度指定管理者評価調書

施設所管課	胆沢総合支所健康福祉グループ
-------	----------------

施設名称	胆沢高齢者総合福祉施設ぬくもりの家	施設所在地	胆沢地域
指定管理者名	社会福祉法人胆沢やまゆり会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	高齢者福祉サービスを提供する	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	利用料金のみ
施設概要	特養ホーム50床、短期入所施設10床、デイサービスセンター40人、認知型高齢者グループホーム9床		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	特養(50床)、グループホーム(9床)		59	59	59	58	
短期入所(10床)		3,770	3,794	3,701	3,754	101.4	
(計)		3,829	3,853	3,760	3,812	101.4	
[利用者の増減理由] ・特養ホームは7月から9月までの3月間、職員体制が不十分だったため、3床空床となってしまいました。 ・長期入院による特養ホームの空きベッドを利用し、定員枠外で受け入れを積極的に行い、定員を超える1日平均10.3人の利用実績に達しました。33名の利用者との新規利用契約を行いました。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R1年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R1年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料			0	歳入	使用料		使用料		
	利用料金	550,638,961		550,638,961		賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0		その他		その他		
	雑収入	3,790,144		3,790,144		計(A)	0	計(A)	0	
	計	554,429,105	0	554,429,105						
	支出	人件費	332,644,363		332,644,363	歳出 ※経常的	指定管理料	0	人件費	
		需用費	72,251,786		72,251,786		委託料		委託料	
		役務費	2,819,605		2,819,605		需用費		需用費	
		委託料	31,901,946		31,901,946		その他		その他	
		使用料・賃借料	5,773,955		5,773,955		計(B)	0	計(B)	0
租税公課		9,685,042		9,685,042	支出(B-A)	0	支出(B-A)	0		
その他諸費		46,679,955		46,679,955	歳出 ※臨時的	維持修繕費	24,662,000	維持修繕費		
計		501,756,652	0	501,756,652		備品購入費		備品購入費		
計(C)				計(C)		24,662,000	計(C)	0		
損益	52,672,453	0	52,672,453	支出(B+C-A)	24,662,000	支出(B+C-A)	0			
職員配置	常勤職員	62人		市の正職員	0人					
	非常勤職員	56人		市の臨時・非常勤職員	0人					
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	550,638,961		550,638,961							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		66.3%	R1年度指定管理者損益	52,672,453円		評価			
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし		3			
行革効果	[指定管理による行革効果]			[行革効果額] 0円			評価			
	当初から公設民営化の手法をとっており、指定管理以降行政には負担を生じていない。			[行革効果額の積算根拠]						
					R1	H30		比較		
				直営支出額	0	0		0		
				市支出額	0			0		
効果額				0	0	0				

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	高齢者総合福祉施設の運営	○		3
自主事業	・地域住民と施設利用者のふれあい交流の場を目指す健康フェスティバルと連携したイベントの開催 ・地域に密着した独自のふれあい交流事業 里孫交流活動、七夕まつり	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。		3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守、点検が行われていた。		
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	報告書により、的確に行われていることを確認した。		
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	デマンド監視装置を設置し使用電力の節減に努めていることを確認した。		
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	介護保険・社会福祉事業者総合保険への加入を確認した。		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	専門業者による樹木等の管理が行われていた。		
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	報告書により、利用者の公平性の確保が図られていることを確認した。		3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	広報を活用して周知を図ったことを確認した。		
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口等でのトラブルは丁寧な対応がとられていることを確認した。		
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情や問い合わせに対し、迅速な対応がとられていることを確認した。		
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	七夕まつりや里孫交流事業等地域交流活動に積極的に取り組んでいる。		
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	協定書に従い報告を受けている。		
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報に関する基本方針に法り、適切に実施していることを確認した。		3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。		
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により、利用者の安全を確保していることを確認した。		
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていたことを確認した。		
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	対応マニュアルを確認した。		
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	避難訓練を2回実施したことを確認した。		

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	3
		調査内容	利用者とその家族に夕愛するアンケート(回答率: 251/549人、45.7%)	
		調査結果	<ul style="list-style-type: none"> ・殆どどの質問で過半数以上が「満足」、「普通」という回答であった。 ・短期入所利用者とその家族からは「不満」という回答が他に比べて多かった。 	
	要望・苦情等	<p>良好とする評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつも優しく接していただきありがとうございます。担当者や職員の声掛けに笑顔が増えたと思います。 ・四季を感じさせていただいたり、イベントなど家にいる時と変わらない生活をしていただき感謝です。 ・説明がとてもよく職員の皆さんがはつらつとしてとても頼りがいがあります。安心できてとても良いです。 <p>苦情・改善要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当の異動が短期でなれない。もう少し長期にしてほしい。 ・出かけたいと思ってもなかなか予約が取れない。 ・上着のボタンが閉まってなかったり、靴のかかとを踏んでいたりしていることがある。この時期寒かったり、危なかったりしてしまうかもしれません。忙しい時間帯だとは思いますがよろしくお願いします。 		

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<p>指定管理者として適切な事業運営に当たっているものと評価する。 利用者とその家族からの職員や施設に対する信頼は、アンケートの共通事項の職員の接遇や施設の雰囲気に対する質問で過半数が「満足」していると評価している。</p>		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)			特になし

令和元年度指定管理者評価調書

施設所管課	衣川総合支所市民福祉グループ
-------	----------------

施設名称	瀬原交流館	施設所在地	衣川地域
指定管理者名	瀬原交流館運営委員会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地域の高齢者に対し、宅老事業を実施することにより社会的孤立感の解消を図るとともに、地域住民との世代を超えた交流を図る。	指定管理料の有無	無
施設概要	多目的ホール（和室）、小ホール（和室）、調理室、多目的室（洋室）、図書室	指定管理料の区分	利用料金のみ

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	利用者数		1,250	1,093	1,109	910	
	(計)	1,250	1,093	1,109	910	82.1	
〔利用者の増減理由〕							
今年度においては、新型コロナウイルス感染症対策によりイベント実施及び施設利用の自粛要請がされた影響により3月の利用者減が顕著であった。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R1年度指定管理者収支				市の収支				
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R1年度決算額		市直営決算(H17年度)		
					歳入	歳出	歳入	歳出	
収入	指定管理料	0		0	使用料	0	使用料		
	利用料金	7,300		7,300	賃貸料	0	賃貸料		
	自主事業	0		0	その他	0	その他		
	雑収入	196,520		196,520					
	計	203,820	0	203,820	計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	0		0	指定管理料	0	人件費	
		需用費	203,820		203,820	委託料	0	委託料	180,000
		役務費	0		0	需用費	0	需用費	
		委託料	0		0	※経常的 その他	0	その他	
		使用料・賃借料	0		0	計(B)	0	計(B)	180,000
租税公課		0		0	支出(B-A)	0	支出(B-A)	180,000	
その他諸費		0		0	歳出 ※臨時的 維持修繕費	178,273	維持修繕費		
計		203,820	0	203,820	備品購入費	0	備品購入費		
損益	0	0	0	計(C)	178,273	計(C)	0		
				支出(B+C-A)	178,273	支出(B+C-A)	180,000		

職員配置	常勤職員	0人	市の正職員	0人
	非常勤職員	0人	市の臨時・非常勤職員	0人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	84,900	77,600	7,300

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	%	R1年度指定管理者損益	0円	評価
-----------	--------------------	---	-------------	----	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	------------	---	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕	〔行革効果額〕 180,000円			評価	
	指定管理導入前は年間180,000円で管理委託していたが、指定管理制度導入後、現在は指定管理料無しの取り扱いとし、市の財政面で効果があった。	〔行革効果額の積算根拠〕				
			R1	H30		比較
		直営支出額	180,000	180,000		0
		市支出額	0	0		0
効果額	180,000	180,000	0			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の使用許可に関する業務、施設の使用に係る利用料金の収受・減額又は免除・還付に関する業務、施設等の維持管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	地域住民活動（婦人会親睦活動、子ども会活動、高齢者サロン活動、三世代交流会など）	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	適宜点検がなされ、修繕箇所発見時には市へ報告が行われた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	随時、目視点検や試運転を行い適切に管理されている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	使用後の掃除に加え、年3回(5月、9月、12月)の全館清掃が行われていた。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	館内掲示等で利用者にも節水・節電の協力を求めるなど、省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	該当なし		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適宜、環境整備がなされていた。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に執行されていることを確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	チラシの回覧や防災無線等により周知を図ったことを認めた。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	トラブル等はなく、適切な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情はなかったが、対応手順等を確認した。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	施設設置目的に適した地域活動を実施している。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護法に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	消火器の設置のみ(任意)	○	
	警備業務の実施(機械警備含む)	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	安全確保を心がけることを周知している。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関連機関への連絡、対応マニュアルを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、災害時の対応を確認した。	○	
	避難(救助)訓練の実施	避難訓練の実施	避難訓練の実施を確認した。(令和元年6月23日実施)	○	

5 利用者評価

利用者評価		実施の有無	無	評価 3
	利用者アンケート	調査内容		
		調査結果		
	要望・苦情等	良好とする評価	地域の高齢者等を対象として事業を実施することにより、高齢者等の社会的孤立感・閉じこもりを解消し、世代を超えた交流活動を実施することで地域の活性化に貢献している。	
		苦情・改善要望等	特になし。	

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	2	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本制度導入により、物件費等が抑制され行革の効果を着実に上げている。 ・使用許可申請の受付及び許可業務や施設管理等の対応は、地域に密着しているため迅速であり評価できる。 ・地域の財産として、地域交流を取り入れた利用がされており、今後の取り組みにも期待できる。 ・実質的に地元の集会施設であり、改めて利用促進を呼びかける必要性が薄い。 		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	特になし		特になし